

「Peep」 ～ここがヘン！うちの家族～

調査概要	おすすめポイント	利用シーン
行動観察をライトに行うために、対象者自身を観察者に仕立てあげる	<u>家庭内に潜む、ちょっとした違和感に着目することで、商品やサービス開発のヒントを得る。</u> <u>家族同士で観察、インタビューを実施してもらうため、通常の行動観察よりも多くのサンプルで実施できます。</u>	・新商品開発の潜在ニーズを探索 ・企画段階におけるアイデア出し など

■ 実施イメージ

①「観察」

その観察者の目線を通じて、家族のヘンな所を投稿してもらう。

Ex. 体を洗う前に、湯船に浸かってしまう父
脱いだ靴下を洗濯機に入れる前に嗅いでいる兄
チラシの特売品に丸印を付けているが、買い物には忘れていく母

②「言い訳」

その本人にインタビューしてもらい、そのヘンな行動の理由を弁明してもらう。

③「感想」

その言い訳に対する観察者やその他家族の反応をレポートしてもらう。

家族にしか見せない行動が見える化

■ 活用イメージ

- 周りからは「ヘン」と指摘されても、つついやってしまう行動の裏には、きっとその人なりの理由やこだわり、心地よさがあるはず。
- しかし、周りから認められず悶々としているはず。
- もちろん、周りも異物として違和感を抱きながら生活しており、ビョウな気分。
- そういった「違和感」を埋める所に新たな商品開発の手掛かりがあるかも。

体を洗う前に、湯船に浸かってしまう父

- 体を洗ってから浸かるよりも、まずはゆっくりしたい。
- 洗う時間が待ちきれない。
- 気持ちは分からないでもないが、後に入る人が気持ち悪い。

【プレボディウォッシュ】

シャワーのノズルに付けるだけで、洗浄剤が噴霧され、ソープで丁寧に体を洗わなくとも、6割方は表面的な汚れが落ちる。